日本キリスト教団 東金教会〔１８〕

2017年４月３０日 復活節第２主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖　句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	土屋
奏楽	中村山上
受付	深井
案内	中延島
名札係	宮
礼拝感謝祈祷	安
〃　〃	中

前奏		中村文子
讃美歌	７２	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	１７	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	マタイ福音書２７:15～26	司会者
祈祷		土屋
讃美歌	２７６	一同
み言葉の伝え	「バラバかキリストか」	小原
讃美歌	５１５	一同
献金		
礼拝感謝		安延
〃　〃		中島
報告		土屋
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)		小原
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 5月3日(水)休会
早天祈祷会 月-土7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会 5月7日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 5月7日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日の講壇は小原　先生にお守り戴きました。ご奉仕を感謝致します。
☆５月からの教会行事スケジュール表が出来ております。ご奉仕下さる方は宜しくお願い致します。
☆次週は総会資料作成、印刷日です。資料作成担当の方、又、印刷御奉仕下さる方は宜しくお願い致します。
☆4月29日に持たれました昭和の森へのハイキングは40名の児童，生徒に，教会学校教師、幼稚園教諭，保護者あわせて70名以上で行ってきました。
☆教会学校では５月１４日に母の日礼拝が予定されております。
☆東金市主催の「東金ゆかりの芸術家による作品展及びクラシック・コンサート」に森川英男兄の作品が出品されております。また吉橋　　さん、吉橋　さん、深山　　さんは当幼稚園の出身です。その他にも当教会員と関わりを持たれている方がおられます。開催期間は6月15日～18日です。詳しくは掲示板をご覧下さい。
☆「ペンテコステ礼拝ご案内」にありますように６月４日はペンテコステ礼拝です。当日は礼拝後墓前礼拝も予定されております。お覚え下さい。
☆ペンテコステを覚え、感謝献金をお献げ下さい。
☆６月１６日午前10時半より午後２時半まで千葉支区婦人部東総分区集会が持たれます。会場は２階会堂です。
☆教会学校１泊夏期学校が８月９、１０日「千葉市少年自然の家」で持たれます。ご加祷、ご協力宜しくお願い致します。
☆５月３日の祈祷会は休会とさせて戴きます。

【東金教会定期総会公告】

○日時2017年５月１４日　礼拝後
○場所…東金教会一階会堂
○議事…　朴　教師招聘の件
　　長老選任の件
　　その他

【4月３０日～５月６日の誕生者】

○ 新行内　兄　○土屋　　姉　○三枝　　姉
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/23)	19	34	53
聖研祈祷会(4/26)	3	3	6
聖書輪読会(4/23)	2	2	4
教会学校(4/23)	15	19	34
山田台集会(4/25)	5	7	12

早天祈祷会

日	男	女	計
4/24	1	2	3
4/25	1	2	3
4/26	1	2	3
4/27	1	2	3
4/28	1	2	3
4/29			

主日礼拝献金(4/23)……29,017円
教会学校献金(4/23)……10,732円

【今日のメッセージ】

題［バラバかキリストか］
聖　書　マタイ福音書27：15～26
1.
2.
3.

【次週(５月７日)礼拝案内】

題　［すべてを賜る神］
聖　書　ローマ書8:３１～３４
交読文　１７
讃美歌　１９番　５３４番　２０５番
新聖歌　１９６番

【次週(５月７日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村征一郎
司式者	足立
奏楽者	中里
受付者	三枝
案内者	寺内
名札当番	安延
礼拝感謝祈祷	岡村
〃　〃	朴
cs お話し	安延
会堂清掃者	寺内
〃　〃	鈴木
花係	小林
看板書き	澤本

【次週(５月７日)聖餐式当番者】

配餐者	岡村・朴
祈祷者	岡部・岡村

【聖書から】

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。

ローマ書八章二八節

神を信じるとは神を愛することである。もし神の御存在を知り、神は本当に生きていたもうことを知っていたとしても、神を愛する心がなかったならば彼は神を信じているとは云えない。なぜなら信じることは彼に依存し、彼の教えを受け、彼を信頼し、彼との絆を確かにする心を持つこと、即ち、彼を愛する心を持つことと不可分だからである。例えて云えば悪魔は神の存在を知るだけであり、神との絆を確かにする心を持つこと、即ち、神を愛する心を持つことはしない。このように「愛する」ことがないなら彼は神を信じているとは云えないのである。

ところでパウロは、このような私達の、神への愛は、その愛以前に先行する愛があることを私達に教える。即ち、先ず、神が私達を愛し、私達を御自身の民として選んで下さったが故に私達は神を愛するようになったと云うのである。ともかく、ここで語られるのは、私達と神とが分ち難く結びついている、と言うことである。何と言う恵みだろうか。この分ち難い結びの中に置かれた私達は、凡てのことが益に働くのである。一人の者として経験することは実に様々である。其処にはもちろん喜びの経験もある。しかしそれに倍する苦しみや悩み、悲しみ、怒りもあるのが私達の人生である。けれども独りでなく神と共にこの地上を生きるとき、そこでの苦しみや悩み、悲しみ、怒りはそのままでなく益なるものに変えられる。神が私達と共に生きて下さることによって、凡てが益に変えられるのである、そしてこれはパウロの証しである。絵に書いたものでなく、神学論文でもなく、彼が苦闘の中で経験した実際の神の恵みである。そして彼の、この経験を同じように辿る者、それが信仰者なのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。